

		施策	取組の方向性	主な取組例	主な実施機関 <small>※下線は奈良県食育推進会議委員の所属機関</small>	令和6年度取組内容(予定) ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています		
基本方針Ⅰ	健康寿命の延伸にむけた食育	生活習慣病の発症と重症化予防	健康的な食生活の普及推進	○「やさしおベジ増し宣言」(主食・主菜・副菜がそろった食事を1日に2回以上とることを基本に、身体にやさしい塩加減で、野菜を増した食生活を実践すること)の定着にむけた普及啓発	健康推進課・保健所 市町村 栄養士会 食生活改善推進員協議会	○令和7年1月に第5回私の「やさしおベジ増し宣言」の募集を予定。募集した宣言内容について、HP等へ掲載し周知を図る。(健康推進課) ○県内のスーパーマーケット等と協力し啓発イベントを実施予定。(健康推進課、県保健所) ○減塩ツールをHPへ掲載し、市町村等での活用を促進する。(健康推進課) ○15秒程度の啓発動画を作成し、SNSやデジタルサイネージを通じて情報発信を行う。(健康推進課) ◎幼児期～高齢世代を対象にテーマに沿った事業の実施(保育所等食育教室・生活習慣病予防クッキング等)(食生活改善推進員) ◎おやこの食育教室・生涯骨太クッキング・男性のための料理教室・ヘルスサポーター養成事業等の実施(食生活改善推進員) ◎栄養ケア・ステーション事業(栄養士会) 県民の毎日の食・栄養について、直接的にサポートを行い健康的な食生活の普及推進を図る。 ・健診センターの特定保健指導 ・健康づくりや栄養改善・食育に関する講演、 ・県内大学における学生への食支援 ・市町村等の健康または食育に関するイベントでの普及啓発 ・高齢者サロンでの健康教育 ・料理教室の講師 等		
				○減塩及び野菜の摂取量増加に関する実践方法の普及啓発				
				○奈良県減塩ツール「高血圧の人のための減塩教室実施マニュアル」等の活用促進				
				○1日3食、ゆっくりよく噛んで食べる等、適切な食生活習慣に関する普及啓発				
				○適正体重の維持に関する普及啓発				
				○市町村や保険者が行う健診等に合わせて、個別の健康状態に応じた栄養指導を充実			市町村	○市町村や保険者が行う健診等に合わせて、個別の健康状態に応じた栄養指導を充実
	職場における食育の推進	新規	肥満などの健康課題の多い働き盛り世代に対しては、職場(事業所等)における健康づくりに取り組む事業所への支援を実施。従業員が健康であることは、企業の業績向上につながることから、「健康経営」の推進についても支援し、関係者と連携・協働した取組を推進。	○特定健診の受診促進及び保健指導の利用啓発	全国保険協会奈良支部	◎付加健診を含めた特定健診の受診促進と食事・栄養指導を含む保健指導の利用啓発 ◎職場まるごと健康宣言事業所数の増加(1,211事業所(R6.5末時点))		
				○「職場まるごと健康宣言」(健康経営の考え方を取り入れて従業員の健康保持増進を図る)の普及啓発				
				○事業所における健康づくりの取組支援			全国保険協会奈良支部 健康推進課・保健所	○「J世代の健康づくり事業」において、県内の事業所で働く従業員を対象とした健康教室を実施。(健康推進課・保健所) ◎健康講座の実施(全国保険協会奈良支部)
				○社員食堂等において、健康に配慮したメニューの提供および啓発媒体の掲示			保健所	○やさしおベジ増しプロジェクトに参加されている事業所の社員食堂に食育月間ポスターを掲示(吉野保健所) ○特定給食施設等関係職員研修会において、社員食堂等における食環境整備のメリットや企業の食育推進事例集について情報提供(中和保健所)
				○地域職場連携推進協議会の開催			健康推進課・保健所	○地域職場連携推進協議会の開催
				高齢者の健康づくり			新規	高齢者のフレイルや低栄養状態を予防するため、市町村等と連携し、個別支援の他、社会参加を促す等、高齢者が食を楽しむ、地域で元気に生活できるための取り組みを推進。
○通いの場等において適切な食事内容や食べ方に関する普及啓発	市町村・栄養士会 食生活改善推進員協議会	◎市町村事業(通いの場等)、地域高齢者が参集する場において低栄養・フレイル予防に関する講話の実施(7～10市町村:栄養士会) ◎地域包括支援センターと連携し、災害時の食事支援教室の実施(食生活改善推進員協議会)						
○地域ケア会議に栄養士が参画し、要支援高齢者等の食生活支援や訪問食事相談を実施	地域包括支援課 市町村 栄養士会	◎地域ケア会議に参画し、要支援高齢者等の食生活支援、または訪問食事相談の実施(栄養士会)						
○市町村における地域ケア会議の実施及び支援		○地域ケア会議に多様な専門職が参画する体制の構築や地域課題の検討等、市町村における自立支援・重度化防止の取組の推進に向けた研修会を実施予定(地域包括支援課)						
○オーラルフレイルに関する普及啓発	健康推進課・保健所 市町村	○スーパーの来店者を対象に咬合圧測定、パネル展示やリーフレットを用いたオーラルフレイルの普及啓発を実施。(中和保健所) ○市町村主催の会議への参加や、健康増進計画・食育推進計画等の歯科口腔分野への個別支援を実施。(中和保健所)						
			○市町村における歯周疾患検診等の推進					
自然に健康になれる食環境づくり	新規	食品関連事業者と連携し、「主食・主菜・副菜を組み合わせた弁当」や「美味しく減塩された総菜」等、健康的な食事を提供販売する取組(やさしおベジ増しプロジェクト)や食品選択の場面において適切な栄養・食生活に関する情報発信を行う等、食や健康に関心の薄い方も含め、誰もが自然に健康になれる食環境づくりを推進。	○「主食・主菜・副菜を組み合わせた弁当」や「美味しく減塩された惣菜」等の提供販売に取り組む「やさしおベジ増しプロジェクト」の推進	健康推進課・保健所 栄養士会 ならこーぷ	○各保健所を通じた事業者への周知、「やさしおベジ増しプロジェクト」登録に向けた支援。(健康推進課、県保健所) ○管内スーパーでの食育イベントを開催。テーマ「減塩・野菜摂取・フレイル予防」スーパー独自に減塩商品のコーナー設置(吉野保健所) ◎配食弁当やお惣菜を提供する事業者に対し、適切に栄養管理された食事の提供に向けた相談窓口の設置(栄養士会) ◎やさしおベジ増しプロジェクトとして、減塩、野菜摂取の啓発を行う。11月のリニューアルに向け、学習会や毎月試食で意見を聞き認知度を上げる。(ならこーぷ) ◎事業者に個別指導・支援を行い、適切な食事の提供の販売に繋げる。(栄養士会)			
			○配食事業者等に対する栄養管理等の指導支援					
			○農産物直売所やスーパー等で、県産農産物PRの取組と併せた野菜摂取に関する普及啓発			JANARAケン ならこーぷ	◎8月31日の「やさしいの日」にあわせて野菜の無料配布等による県産野菜のPR(JAならけん) ◎JAグループとして統一的取組を進めている「国消国産」のPR活動(直売所でののぼり旗やPOP、チラシ等の設置)(JAならけん) ◎2008年からJAならけん様とともに「地産地消をすすめる会」を発足。「食べるなら大和」のブランドで、地産地消を広げる。今年度も農業の体験学習や県内産のお米「ひのひかり」の普及を通して学びの場を作る。(ならこーぷ)	
			○商品陳列棚等を利用した食の情報発信				◎POPにて野菜の効能や季節に合わせた調理法、レシピ等を情報発信(JAならけん) ◎地球環境保全と耕作放棄地の有効活用および地産地消の推進、地域雇用および障がい者雇用の促進などを目的に、2022年から五條市阿太地区で農業に取り組み、ホワイトコーンや白菜、メロンなどを栽培。今年度、定植から収穫、加工商品の開発、商品紹介まで長期間にわたって限定した組合員参加の募集企画を行う。店頭やSNSでも発信予定。(ならこーぷ)	
			○配食事業者等に対する栄養管理等の指導支援			保健所	○配食事業者スキルアップ研修会において、食中毒の現状と予防やHACCPの考え方を取り入れた衛生管理について情報提供。配食事業者を対象にサービス内容に関するアンケート調査を実施し、配食サービス事業者一覧を作成。保健所ホームページへ掲載し、管内関係機関へ情報提供。(中和保健所)	
			給食を通じた食育の推進				給食の利用者に応じた適切な食事が提供されるよう、栄養改善を図る。	○給食施設の管理者、担当者を対象とした栄養管理の向上、食育推進、衛生管理等に関する研修会の開催及び個別指導・支援
○社員食堂等において、健康に配慮したメニューの提供および啓発媒体の掲示(再掲)		○やさしおベジ増しプロジェクトに参加されている事業所の社員食堂に食育月間ポスターを掲示(吉野保健所)						

		施策	取組の方向性	取組の内容	主な取組	主な実施機関 <small>※下線は奈良県食育推進会議委員の所属機関</small>	令和6年度取組内容(予定) ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています
基本方針Ⅱ	次世代の健全な食習慣形成のための食育	健やかな発育、基本的な生活習慣の形成	保育所・幼稚園等における食育の推進	保育所、認定こども園、幼稚園等において食育の計画を作成し、園長、保育士・幼稚園教諭・保育教諭、栄養士、調理員等が協力し、家庭や地域と連携しながら組織的・計画的・継続的に食育を推進。	○保育所、認定こども園、幼稚園における発達発育段階に応じた、組織的・継続的・計画的な食育の推進	保育園・こども園・幼稚園等	◎各種研修会などで食育推進を行う(日本保育協会奈良支部)
					○地元食材を利用した給食の提供		◎日本保育協会会員に向けてパンフレット等情報発信を行う(日本保育協会奈良支部)
					○保護者にむけた食に関する情報発信		◎日本保育協会会員に向けてパンフレット等情報発信を行う(日本保育協会奈良支部)
					○ICT等を活用した食育の実践力と指導力を育成するためのプログラムの作成及び普及推進	こども保育課	○奈良っ子はぐみワークブック「ひとたね」を活用した研修会の開催予定
					(その他取組)	こども保育課	○児童福祉施設給食関係者研修会2回/年の開催 テーマ①こどもの発育・発達に応じた食支援(7/2実施) テーマ②食育(「ひとたね」)年度内実施予定 ○事故防止研修会(食物アレルギー)10月頃実施予定
		小・中学校等における食育の推進	給食と各教科等を関連づけた指導計画の作成と指導の充実を図り、学校教育活動全体で食育を推進。また、子どもを取り巻く社会環境が変化し、栄養の偏りや朝食欠食といった食習慣の乱れ等に起因するやせや肥満の増加等の健康に関する課題の改善にむけた取組支援を実施。	○学校における食に関する指導を組織的・継続的・計画的に実施	小中学校等 体育健康課 奈良県学校給食会	◎「食に関する指導の全体計画」の作成とそれに基づく組織的な食育の推進について県立学校および各市町村教育委員会に周知する。年度末に食育推進状況調査を実施する。(体育健康課・奈良県学校給食会)	
				○栄養教諭や学校栄養職員等を対象に食育推進状況調査の結果の共有及び資質向上を図るための研修会の実施		◎栄養教諭・学校栄養職員等を対象とした研修会で、調査結果の共有及び資質向上を図る。(体育健康課・奈良県学校給食会)	
				○学校給食を教材とした食に関する指導の充実		◎学校給食を生きた教材と捉え、日々の給食指導や関連する教科及び総合的な学習の時間等を活用し、学校全体での組織的な取組を推進する。(体育健康課・奈良県学校給食会)	
				○学校給食における地産地消の推進		◎6月、11月に実施する「地場産物等実態調査」にて活用状況を把握し、更なる活用の推進を図る。(体育健康課・奈良県学校給食会)	
		子育て家庭・地域における食育の推進	子どもが望ましい生活リズムや食事のマナー等を身につけられるよう、日常生活の基盤となる家庭における実践を支援するための取り組みを地域の関係機関や団体と連携推進。	○妊産婦・乳幼児の栄養指導を実施	市町村	○妊産婦・乳幼児の栄養指導を実施	
○保護者にむけた食育の情報発信	PTA協議会			◎保護者にむけた食育の情報発信			
○親子が地域の人とつながる居場所、地域の子育て支援活動の場となるこども食堂の普及	こども食堂ネットワーク こども家庭課			○市町村が主体となった「こども支援地域ネットワーク」の構築を検討してもらうよう、引き続き市町村に対し働きかけを行う。(こども家庭課) ◎県内で多様な活動実践(会食型、配食型、食材配付型など)を展開しているこども食堂の豊かな取組を広く周知・啓発を行う。(こども食堂ネットワーク)			
○食について学び体験するイベント等の実施	教育振興課 JAならけん	◎あぐりスクールの開校により、小学生を対象に米・野菜の植え付けから収穫、調理体験等の機会を提供し、食と農の大切さを発信。(JAならけん)					
健康的な食生活の定着と実践	新規 若い世代に対する取組の推進	若い世代は健康や食に関心の薄い方が多く、朝食の欠食や栄養バランスのとれた食事をとることが少ない等の問題があり、女性についてはやせが大きな問題であることから、特性やライフスタイル、ニーズに合わせた情報等を効果的に発信できる機会を増やす取組を推進。	○若い世代の関心事を切り口とした食に関する情報発信	健康推進課 ヘルスチーム菜良(食育活動を行う管理栄養士養成施設学生によるサークル)	○15秒程度の啓発動画を作成し、SNSやデジタルサイネージを通じて情報発信を行い、幅広い媒体で啓発する。(健康推進課) ○ヘルスチーム菜良、イオンリテール株式会社との協同による弁当販売事業を実施。10月に各大学が考案した健康や栄養面に配慮した弁当を販売する取組を行う。(健康推進課、ヘルスチーム菜良)		
			○SNS等のデジタルツールを活用した、健全な栄養・食生活の実践に役立つ情報提供				
			○大学生による食育活動を支援				

		施策	取組の方向性	取組の内容	主な取組	主な実施機関 <small>※下線は奈良県食育推進会議委員の所属機関</small>	令和6年度取組内容(予定) ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています
基本方針Ⅲ	奈良の食の魅力向上のための食育	奈良の食の理解と実践	地産地消の推進	直売所の魅力向上を図る整備促進や消費者への情報発信に取り組み、生産者をはじめ流通関係者、食品事業者など関係者と連携し地場産物の利用を促進、「奈良県豊かな食と農の振興計画」とも調和を図りながら取り組みを進める。	○「地の味・土の香」(地産地消を進めるために県と連携協定を締結した直売所)の店舗情報をホームページに掲載	豊かな食と農の振興課	○「地の味 土の香」の店舗情報をホームページに掲載
				○「おいしい奈良産協力店」の認定とホームページへの掲載	○掲載を継続		
				○学校給食における地産地消の推進(再掲)	体育健康課 奈良県学校給食会	◎6月、11月に実施する「地場産物等実態調査」にて活用状況を把握し、更なる活用の推進を図る。(体育健康課・奈良県学校給食会)	
				○農産物直売所やスーパー等で、県産農産物PRの取組と併せた野菜摂取に関する普及啓発(再掲)	JAならけん ならコープ	◎8月31日の「やさいの日」にあわせて野菜の無料配布等による県産野菜のPR(JAならけん) ◎JAグループとして統一取組を進めている「国消国産」のPR活動(直売所でののぼり旗やPOP,チラシ等の設置)(JAならけん) ◎2008年からJAならけん様とともに「地産地消をすすめる会」を発足。「食べる"なら"大和」のブランドで、地産地消を広げる。今年度も農業の体験学習や県内産のお米「ひのひかり」の普及を通して学びの場を作る。(ならコープ) ◎2021年度から地域農産物を活用した加工食品開発プロジェクトとして「味間いもポタージュ」の商品開発に磯城野高校様と取り組む。今年度も学校運営協議会に就任し取組を継続。(ならコープ)	
				○県産食材の情報や県産食材を味わえる県内飲食店等の情報をWebサイト「奈良コレ」で発信	豊かな食と農の振興課	○県産食材や県内飲食店等の情報発信を継続	
		食文化(郷土食)の継承	○保育所給食や学校給食において郷土料理を取り入れた献立の実施	保育所・こども園・小中学校等 体育健康課	○各研修会において、栄養教諭等に郷土料理や伝統料理に係る目標を周知するとともに、年度末に食育推進状況調査を実施し取組の進捗を把握する。(小中学校等、体育健康課) ◎日本保育協会会員に向けてパンフレット等情報発信を行う(日本保育協会奈良支部)		
			○学校給食献立コンテストの実施(栄養価・減塩・地場産物・郷土愛・季節感等を審査)	体育健康課	○奈良県学校給食栄養研究会と連携し、学校給食献立コンテストを実施する。		
			○ONAFIC附属セミナーハウスや、なら歴史芸術文化村交流にぎわい棟での食と農の情報発信	豊かな食と農の振興課	○奈良の食文化や郷土料理等について、歴史等を交えて紹介する子ども料理教室を開催。		
			○県産食材や食文化(郷土食)の情報をホームページに掲載		○県産食材等の特徴や歴史等を紹介するホームページ「奈良コレ」や、「奈良の食文化」ホームページで情報発信		
			○大和牛のブランド力強化、大和肉鶏の生産性の向上	畜産課	○大和牛については、肥育期間延長による高品質な大和牛の生産に対する支援を実施。 ○大和肉鶏については、損耗行動を防止することによる生産品質強化検討試験を実施。		
			○郷土料理や伝統料理を取り入れた地域の料理教室や体験活動の実施	食生活改善推進協議会 JAならけん	◎県内3地区において、郷土・伝統料理教室の実施予定(食生活改善推進員協議会) ◎奈良県の奨励品種であるヒノヒカリと大和茶を使った「大和茶がゆ」の商品開発(JAならけん) ◎女性部活動における県産農畜産物を使用した料理教室等によるPR活動の実施(JAならけん)		

		施策	取組の方向性	取組の内容	主な取組	主な実施機関 <small>※下線は奈良県食育推進会議委員の所属機関</small>	令和6年度取組内容(予定) ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています	
基本方針Ⅳ	食を支える環境づくり	食育推進のための体制整備	食の担い手の育成と活動支援	地域特性を踏まえ総合的かつ計画的に食育を推進するために、市町村管理栄養士・栄養士の配置促進及び資質向上を図る。また、食生活改善推進員協議会をはじめとする多種多様な地域の関係団体の活動を支援する。	○市町村行政栄養士等の配置促進および資質向上	健康推進課・保健所	○市町村新任期の栄養士を対象に年間4回の研修を実施する。 ○保健所管内市町村の栄養業務を担当する栄養士を対象に連絡会を開催(吉野保健所)	
				○食生活改善推進員や食育ボランティア等の活動支援	市町村	○食生活改善推進員や食育ボランティア等の活動支援		
				○なら食と農の魅力創造国際大学の運営	豊かな食と農の振興課	○なら食と農の魅力創造国際大学の運営		
			多様な主体による食育の推進	市町村における食育の推進	市町村が食育推進計画の目標達成を目指した効果的な取組が推進できるよう支援。	○市町村食育推進計画や健康増進計画に基づく取組の推進 ○市町村主体による栄養バランスのとれた食事、減塩、野菜の摂取量増加に関する取組の実施支援	健康推進課・保健所	○市町村主催の会議への参加や、健康増進計画・食育推進計画等へ個別支援を実施する。
				食育に係わる多様な関係者が、その特性や能力をいかし、主体的に、かつ互いに連携・協働して、多様な取組を推進。	○奈良県食育推進会議や保健所食育ネットワーク会議において、関係者と県の取組を相互に共有し、連携協働を推進	健康推進課・保健所	○奈良県食育推進会議の開催 ○食育推進会議を通じて、食育関係団体の連携協働を推進する。	
					○企業やボランティア、関係団体と連携協働した食に関する取り組みの実施	健康推進課・保健所	○奈良県食育推進会議の開催 ○食育推進会議を通じて、食育関係団体の連携協働を推進する。	
	社会情勢の変化に対応した食育	食の安全安心の取組推進	新規 食品ロスの削減にむけた食育の推進	消費者、事業者、行政などあらゆる主体が食品ロス削減に対する意識を高め、実践の結びつけていくため、食品ロスによる影響や、食品ロス削減の具体的な取り組み例などの周知や理解を図る。	○食品ロス削減の必要性について県民の理解を高め、実践に結びつける啓発を実施	豊かな食と農の振興課	○食品ロス削減の必要性について県民の理解を高め、実践に結びつける啓発を実施	
					○「奈良県食品ロスポータルサイト」による情報発信		○「奈良県食品ロスポータルサイト」による情報発信	
					○未利用の農産物を子ども食堂に提供		○未利用の農産物を子ども食堂に提供	
					○フードバンク活動を行う団体の取組を支援		○フードバンク活動を行う団体の取組を支援	
					○消費者庁食品ロス削減推進サポーター育成講座の受講推進		○消費者庁食品ロス削減推進サポーター育成講座の受講推進	
					○なら食に関するリスクコミュニケーションの開催		業務・衛生課	○なら食に関するリスクコミュニケーションを開催する。
○「食品衛生監視指導計画」に基づく監視指導	○「食品衛生監視指導計画」に基づき監視指導を実施							
新規	デジタル化に対応した食育の推進	デジタル技術の活用による情報発信等の取り組みを推進します。	○環境負荷を低減した農産物の生産と消費を促進	農業水産振興課 ならコープ	○環境負荷低減事業活動実施計画の認定を推進するとともに、「奈良県の環境にやさしい農業シンボルマーク」表示制度の運用を通じて消費拡大を図る。 ◎地球環境保全と耕作放棄地の有効活用および地産地消の推進、地域雇用および障がい者雇用の促進などを目的に、2022年から五條市阿太地区で農業に取り組み、ホワイトコーンや白菜、メロンなどを栽培。今年度、定植から収穫、加工商品の開発、商品紹介まで長期間にわたって限定した組合員参加の募集企画を行う。店頭やSNSでも発信予定。(ならコープ)			
			○デジタル技術を活用した食育活動の展開	健康推進課・保健所 市町村	○デジタルサイネージ、県が有するSNSアカウント等を通して、幅広い世代へ食育を普及啓発する。			
			○ICT等を活用した食育の実践力と指導力を育成するためのプログラムの作成及び普及推進(再掲)	子ども保育課	○奈良っ子はぐみワークブック「ひとたね」を活用した研修会の開催予定			
			新規 災害時の備えの推進	家族の健康状態にあった食べ物や飲料水等の備蓄の促進、非常時にも応用できる調理技術の習得について、普及啓発を図る。	○自分や家族の健康状態にあった食べ物や飲料水等の備蓄の促進、非常時にも応用できる調理技術の習得について普及啓発	栄養士会 食生活改善推進協議会	◎県および奈良市合同の防災総合訓練において、空き缶炊飯やパッククッキングの実演および災害時備蓄食品の展示等を行い災害時の食の備えの普及啓発(栄養士会) ◎各種機関・団体からの依頼によるパッククッキング・空き缶炊飯および災害時の食事に関する普及活動(栄養士会) ◎地域包括支援センターと連携し、災害時の食事支援教室の実施(食生活改善推進員協議会)	
○給食施設における災害時対応マニュアルの作成及び備蓄食の整備	保健所	○特定給食施設等関係職員研修会(8/8予定)(吉野保健所) ○「特定給食施設における災害対策」をテーマに管内特定給食施設等関係職員研修会を開催。「特定給食施設における災害時の栄養・食生活支援に関する実態調査」を実施し、調査結果を研修会で情報提供する。(郡山保健所) ○特定給食施設等関係職員研修会において、栄養管理報告書から保健所管内のマニュアル作成状況・備蓄状況をまとめ、情報提供。給食施設における栄養管理の手引きのマニュアルの記載項目例も併せて情報提供。(中和保健所)						